

TIFFANY & CO.

2017 年 2 月

ティファニー、2017 年より NY のホイットニー・ビエンナーレに協賛 ビエンナーレ出展アーティストとコラボレーション商品を発表

ティファニーは、2017年、2019年、2021年の3回にわたり、NYのホイットニー美術館で開催されるホイットニー・ビエンナーレに協賛いたします。ホイットニー美術館は、コンテンポラリーアートの最高峰といえる作品を集め、アメリカで最も創造力に富むアートを支持してきました。2年に1度開催されるホイットニー・ビエンナーレは、新進気鋭のアーティストを多く発掘してきたことで知られ、輝かしい歴史をもつ大イベントです。2017年3月17日から6月11日まで開催される今年のビエンナーレは、同美術館がマンハッタンのミートパッキング・ディストリクトに移転後の初開催となり、絵画、彫刻、スケッチ、インスタレーション、映像、写真、アクティビズム、パフォーマンス、音楽、ビデオゲームデザインといった幅広い分野のアーティストやアーティスト集団を紹介します。

ティファニーは、ホイットニー・ビエンナーレ開催に際して、5名の出展アーティストとコラボレーション商品を発表いたします。5名のアーティスト、Harold Mendez (ハロルド・メンデス)、Ajay Kurian (アジャイ・クリアン)、Carrie Moyer (キャリー・モイヤー)、Raúl de Nieves (ラウル・デ・ニエベス)、Shara Hughes (シャラ・ヒューズ) は、ティファニーの職人と共に彼らの芸術的ビジョンを反映させた商品を創作しました。彼らは、今年のビエンナーレの共同キュレーターであるChristopher Y. Lew (クリストファー・Y・ルー) とMia Locks (ミア・ロックス) によって抜擢されました。両キュレーターは次のように述べています。「ビエンナーレ出展アーティストとティファニーの職人のコラボレーションは、極めて類まれな素晴らしい機会です。各アーティストにとっては、自分のアトリエが飛躍的に拡大したかのようです。彼らが共同で創り出した大胆不敵な商品の数々は、ティファニーのアートに対する長年にわたるコミットメントの証しとなっています」。アーティストたちは、このコラボレーションの実現にあたり、創作面での全面的な裁量権を有していました。

この創造的コラボレーションの集大成として、5名のアーティストは各自の作品とコラボレーション商品を組み合わせ、五番街のティファニー ニューヨーク本店においてウィンドウディスプレイをデザインします。このウィンドウは、アーティストたちが自身のビジョンをより幅広いオーディエンスに伝えるための新たな手段となります。さらには、彼らの創作活動の中で習得した技法や表現方法と、ティファニーの職人と共作する中で得た新たなアイデアの探求を併せて紹介するものです。このウィンドウディスプレイは、アートと商業の交差点にあるというティファニーの長きにわたる立ち位置を如実に語るものです。

このコラボレーション商品は、ティファニー ニューヨーク本店でのみ販売される予定です。

ティファニーとアートの関係性

ティファニーは、偉大な企業は幅広い分野において社会に貢献する責任があるという信念に導かれ、長年にわたってアートをサポートしています。アートと共にあるティファニーの伝統は、ブランド創設者であり、メトロポリタン美術館の初代理事を務めたチャールズ・ルイス・ティファニー、そして彼の息子であり、アメリカにおけるアーノ・ヌーヴォースタイルの第一人者として知られるティファニー初代デザイン ディレクターのルイス・コンフォート・ティファニーにまで遡ります。ティファニーは、ニューヨークのホイットニー美術館への支援、そして2021年まで3度にわたって開催されるホイットニー・ビエンナーレのスポンサー役を通して、今後もアートや文化的活動をサポートしてまいります。

アーティストとのコラボレーション商品 詳細

Harold Mendez (ハロルド・メンデス)

カリフォルニア在住のアーティスト。ティファニーのホローウェア工房と協同し、コロンブス以前の時代のデスマスク(死者にかぶせる仮面)にヒントを得た作品を創作しました。顔の形を浮き彫りした容器にティファニー スターリングシルバーを溶接し、玉虫色の艶加工で仕上げられています。メンデスの作品からは、再生物や歴史的遺物が重層的にどのような意味を持つのかを検討する比較文化的視点がうかがえます。

Ajay Kurian (アジャイ・クリアン)

ニューヨーク在住のアーティスト。彫刻を通して心象風景を創造することで知られ、幼少時代の体験が大人の世界にどう影響を及ぼすかというテーマに焦点を当てています。大人も子供も共通して関心のある秘密というテーマに魅せられ、ティファニーの職人と協同して、10個限定のスターリングシルバー名刺ケースに、表面加工を施した複雑なパターンの中に「psycho」(サイコ)という言葉のカスタムデザインの立体蛍光表示で潜ませました。これは、2001年製作の映画『アメリカン・サイコ』に登場する権力者たちの間で交わされる「秘密の握手」を暗に参照しています。

Carrie Moyer (キャリー・モイヤー)

ニューヨーク・ブルックリンを拠点に活動するアーティスト。彼女の創作プロセスは、切り紙のコラージュから始まり、続いて床の上でキャンバスにアクリル絵の具を注いだり、ローラーで塗ったり、点描したり、モップで塗りつけたり、手ですり込んだりして、アクリル絵画作品を制作します。モイヤーは、自身の絵画に登場するフォルムや手による点描から着想を得た、カスタムメイドのスターリングシルバー ペンダントをデザインしました。

Raúl de Nieves (ラウル・デ・ニエベス)

ニューヨーク・ブルックリンを拠点に活動するマルチメディア・アーティスト、パフォーマー、ミュージシャン。その多様な作品は、装飾的な手作りのファッションから、大規模な具象彫刻にまで多岐にわたります。ニエベスは、ティファニーの熟練した刻印職人と協同して、自作品にも共通して見られるテーマ性のある描写を表現しました。2人の人物が子供を世界に送り出している様を描いたイメージが、ティファニー スターリングシルバー ボックスに手彫りされました。これは、新たな始まり、寛大さ、生命、そして心理的挑戦を表現しています。

Shara Hughes (シャラ・ヒューズ)

ニューヨーク・ブルックリンを拠点に活動するアーティスト。自身のアトリエで、ティファニー ボーンチャイナ ピッチャーに彼女特有の大胆な筆致でハンドペインティングを施しました。それは、見る者を作品に描かれた幻想的な風景の中に誘います。



Carrie Moyer (キャリー・モイヤー) 作 シルバーペンダント



Raúl de Nieves (ラウル・デ・ニエベス) 作 シルバーボックス

Tiffany & Co.は、子会社を通じてジュエリーの販売製造を手がけています。主な子会社はティファニー・アンド・カンパニーです。同社は、アメリカ、アジア・パシフィック、日本、ヨーロッパ、UAE、ロシアで小売店である TIFFANY & CO.を運営し、インターネットやカタログ、法人営業を通じ直接販売を行っています。さらに詳しい情報は www.tiffany.com をご覧ください。

TIFFANY & CO.、T&CO.、ティファニーは、ティファニー・アンド・カンパニーとその関連会社の登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先
ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク
パブリックリレーション
TEL03-6895-4473